

二、地方情勢

○福岡地方に於ける本年度労働争議に就て

福岡地方に於いて最近數ヶ年の労働争議發生件數は毎年四十件乃至五十件程度にして即ち其の件數には大差なきも参加人員は漸次減少し概ね小規模の争議にして殊に昨年の如きは最も少く發生件數僅かに二十七件に過ぎなかつたのである。

然るに本年に入りて二月以降急激に争議の頻發を見るに至り既に十一件に達してゐる。

而して之等の争議に於て特に注目すべき事項は、十一件中八件は労働団体の指導に依るものにして、しかも組合の關係したる限り北九州乗合自動車株式会社の争議を除くの外大体に於て争議團體に有利に解決し且つ組合の結成に成功した事であつて、滿洲事變以來久しく陣容の整備と實力の涵養に難伏してゐた労働組合が今

や積極的攻勢に轉じたるの感を一層深からしめたのである。

然るに北九州乗合自動車株式会社の労働争議は近來稀に見る大争議として滯業一ヶ月に亘りて福岡關九聯指導の下に強固なる結束を維持したるも遂に争議團體の失敗に終つたことは特筆すべきであらう。本年度發生したる労働争議の概況を觀察すれば別紙の通りである。